

独立記念日「アメリカの伝統」

第18航空団広報局

嘉手納基地ではアメリカフェスト2011を開催し、アメリカ合衆国建国235年を祝い記念するとともに一部ゲートを一般開放し、地元の皆様を迎えます。

1776年7月4日、アメリカ愛国者数名が独立宣言書に署名、13の植民地がイギリスの支配から離れ、圧政からの開放、また生命・自由・幸福の追求の権利とともに全ての人間の平等を唱えて、新しい国家を建設する意思を示しました。それは、若い国家が誕生するときの宿命ともいうべき厳しい戦いが、7年に渡って伴うものでした。最終的には推定2万5千人のアメリカ人がその生命をささげましたが、アメリカはイギリスの支配から開放され、自由と権利そして市民としての義務を果たすゆるぎない意思に基づく新たな国家としての道を歩むことになりました。

毎年独立記念日には、何百万人ものアメリカ人が、アメリカの独立をもたらした先人たちの献身的犠牲に思いをめぐらせます。また、アメリカにとって特別な意義を持つ自由と民主主義の理念を守るために、幾多の紛争に命を捧げた多くのアメリカ人に敬意を表する日でもあります。

アーウィン専門軍事教育センター校長のジェイムス・ローレント上級曹長は「独立記念日はアメリカ人が我が国の建国を祝うだけでなく、それ以上に、自由への感謝と喜びを心から祝い、家族や友人達を団結させる愛国心を伝えていくものです」と話します。また、ローレント上級曹長は、この高い愛国心は日々国のために戦っている兵士一人一人を表していると話します。「アメリカ独立戦争の歴史を振り返ると、いかに軍人や志願兵たちが危険にさらされる事を覚悟で自由のために身を捧げたのかが理解できます。我々が現在、国家として尊重する理念のために、当時多くの人々が亡くなつたのです。また、彼らについては色々な書物や映画で語り伝えられていますが、革命を通して英雄になる事を考えていましたではなく、彼らは純粋に国家の未来のために隣人と共に協力して戦ったのです。軍人として、そのような遺産となること以外に何を望むことがありますか?」。

アメリカ革命の影響は北アメリカ大陸だけに留まらず、ヨーロッパ大陸の自由思想主義にも影響を及ぼし、最終的にはフランス革命を引き起こすきっかけとなりました。

ローレント上級曹長は「アメリカの歴史は戦場での勇敢で壮烈な戦いの瞬間に誕生しました。国家として発展し続け、また陸軍兵、海軍兵、航空兵、海兵隊員として、我々は世界中で従事してきました。先人たちのように1776年から受け継いだ伝統を築きあげ、米軍人は自由を分かち合い守るために責務を全うしています」と話します。

今でも、アメリカ革命と署名された独立宣言書は、圧制や迫害に直面したときの人間がどのように困難に打ち勝ち、そして何を達成し得るかを示すものとして世界中に知られているところです。パレードや花火、野球観戦、国家の掲揚、家族でのピクニックなどを通じて、国民はアメリカ全土で建国を祝います。235年前にこの国を作り上げた先人たちに敬意を表し、現在まで守り続けている米国合衆国の信条と理念を再認識するものです。

私達アメリカ人は米国独立記念日を祝うことを誇らしく思っています。そして、日本の友人らと私達の大切な米国文化をともに楽しむことのできるアメリカフェスト2011へ皆様を歓迎いたします。

CELEBRATE INDEPENDENCE DAY INDEPENDENCE DAY

CONTENTS

独立記念日「アメリカの伝統」

第18航空団司令官交代式

第18航空団司令官略歴

鏡が丘特別支援学校生、

ライズナ一体育施設で就業体験

第12回嘉手納スペシャルオリンピックス開催決定！

SpotLight-基地で働く日本人従業員の紹介

宮崎県消防団、嘉手納基地空軍消防署を視察

台風2号（タイフーン・ソングダ）による被害

米軍の沿岸波浪情報





第18航空団司令官交代式

第18航空団広報局

2011年6月3日、第18航空団司令官交代式が行われ、マシューH.モロイ准将が新しい司令官に就任しました。交代式は飛行場内にあるE-3航空機格納庫で行われ、在日米軍司令官及び第5空軍司令官を兼任するバートンM.フィールド中将が主宰将校を務めました。式には、空軍兵はもとより、陸軍、海軍、海兵隊員からの代表者、在沖縄自衛隊代表者、また日本政府関係者、地元自治体、地域の経済関係者多数が出席しました。モロイ准将は、挨拶のなかで「本日の私の気持ちを表すと、『感謝』と『感激』の2つの言葉です。この機会を与えてくれた神に感謝し、太平洋地域を護る『ショーグン』の兵士諸君と共に第18航空団に仕えることに感激しています」と述べました。

前任のケネス S. ウィルズバック准将は2009年7月から2011年6月までおよそ23ヶ月間航空団司令官を務め、ハワイ州キャンプ・スミスにある米国太平洋軍指令本部の運用副部長に転属します。

モロイ准将は、新しく部隊旗を受け取った後、整列するカデナチームに挨拶をし、航空団隊員に対する期待と展望を語りました。新司令官の優先事項として、任務に専念すること、常に人を大切にすることを挙げました。

モロイ准将の前職はバージニア州ラングレー・ユースティス統合基地の第1戦闘航空団司令官で、F-15機とF-22機戦闘機操縦で3200時間以上の飛行時間を持つ上級パイロットです。モロイ准将は2000年～2004年にかけて嘉手納基地に赴任した経験を持ち、第18航空団安全部長、第44戦闘中隊運用班長及び第67戦闘中隊司令官を歴任しました。

(指定以外の写真全て、米空軍：ジョナサン・ステフェン二等軍曹撮影)



マシュー H. モロイ准将 略歴

マシュー H. モロイ准将は、在日嘉手納基地第18航空団司令官である。第18航空団は、米国空軍の中で最大規模の戦闘航空団で、米国太平洋軍司令官に対し多様な運用機能を提供する。即ち、訓練された要員・装備の整った戦術的航空優勢部隊、戦闘搜索・救難部隊、指揮管制の拠点、航空医療搬送能力、そして有事対応可能な世界的規模の機動能力である。第18航空団は、F-15C機、KC-135機、HH-60機そしてE-3機の飛行運用を行なう。さらに第5空軍司令官に対し、前方展開する嘉手納基地において、多様な航空力を統合し、展開能力に優れた部隊を保持し、即応態の整った航空運用拠点基地を提供する。

モロイ准将は、コロラド州ボルダー在コロラド大学で航空宇宙エンジニアの学士号を取得し、1987年にヨーロPATO軍合同パイロット訓練課程を1898年に修了し、F-15機及びF-22機戦闘機で3,200時間以上の飛行時間を持つ指揮官パイロットである。これまで小隊、中隊、群、航空団の指揮官を務めた。



教育

- 1987 コロラド州ボルダー在コロラド大学にて航空宇宙エンジニア学士号を取得
- 1992 アラバマ州マクスウェル空軍基地にて中隊将校学校
- 1996 ネバダ州ネリス空軍基地にて戦闘機武器指揮官課程
- 1998 フロリダ州ディートナ・ビーチ在エンブリーリドル航空大学にて航空科学技術修士号
- 1999 アラバマ州マクスウェル空軍基地の航空指揮幕僚大学にて軍事運用学修士号
- 2000 アラバマ州マクスウェル空軍基地の応用航空力研究課程で航空力・科学修士号
- 2002 通信教育にて空軍大学
- 2005 ワシントンD.C. 在国防大学にて国家安全保障戦略研究において理学修士号（優秀卒業生）

経歴

1. 1988年1月 - 1989年2月 : テキサス州シェパード空軍基地にて欧洲NATO共同ジェットパイロット訓練学生
2. 1989年4月 - 1989年12月 : ニューメキシコ州ホロマン空軍基地及びアリゾナ州ルーク空軍基地にて学生パイロット
3. 1989年12月 - 1992年3月 : ニューメキシコ州ホロマン空軍基地第9戦術戦闘中隊にてF-15機戦闘指揮及び中隊訓練将校
4. 1992年5月 - 1994年7月 : アイスランド在ケフラビーク海軍航空基地第57戦闘中隊のF-15指揮官パイロット及び飛行評価官
5. 1994年8月 - 1998年8月 : フロリダ州ティンドール空軍基地にてF-15指揮官パイロット及び武器将校
6. 1998年8月 - 1999年6月 : アラバマ州マクスウェル空軍基地の航空指揮幕僚大学学生
7. 1999年7月 - 2000年6月 : アラバマ州マクスウェル空軍基地の応用航空力研究課程学生
8. 2000年10月 - 2004年6月 : 在日本嘉手納空軍基地にて航空団安全局長、第44戦闘中隊運用班長、第67戦闘中隊司令官
9. 2004年8月 - 2005年6月 : ワシントンD.C. のフォート・レスリー・J. マクネア在国防大学学生
10. 2005年6月 - 2007年7月 : フロリダ州ティンドール空軍基地にて第325運用群司令官
11. 2007年6月 - 2009年5月 : バージニア州ダルゲレン在合同戦闘分析センター指揮官
12. 2009年5月 - 2011年5月 : バージニア州ラングリー・ユースティス統合基地第1戦闘航空団司令官
13. 2011年6月現在 : 在日本嘉手納基地第18航空団司令官

飛行経験

等級：指揮官パイロット
飛行時間：3,200時間以上
運用航空機： T-37, T-38, F-15 A/B/C/D, F-22

主な表彰・勲章

防衛優秀勲章
樅の葉片1個付き勲功章
ブロンズスター勲章
樅の葉片1個付き勲功章
樅の葉片3個付き航空勲章
樅の葉片3個付き航空功績勲章
樅の葉片1個付き空軍勲章
樅の葉片4個付き戦闘即応勲章
クウェート開放勲章（クウェート政府より）

昇級

少尉：1987年9月16日
中尉：1989年9月16日
大尉：1991年9月16日
少佐：1997年9月1日
中佐：2000年5月1日
大佐：2005年8月1日
准将：2011年6月3日

（2011年6月現在）



2011年6月14日から17日の4日間、嘉手納基地ライズナ一体育施設で鏡ヶ丘特別支援学校3年の大城亮君（17歳）がインターン生として就業体験を行いました。大城君は、先天性多発性関節拘縮症という障がいを抱えています。昨年に引き続き2回目となる今回のライズナーでの就業体験では、昨年も一緒に働いたライズナーのスタッフの方々に「Welcome back！」と迎えられ、大城君は「Nice to see you again！」と元気よく挨拶をし、就業体験へ臨みました。

今回も大城君はフロントデスクでの接客業務を中心とする仕事を行いました。英語での電話対応やスポーツ用品の貸し出し等の接客にも慣れてきた様子で、ライズナー施設のスタッフとも馴染んで仕事を行っていました。大城君は「このインターンシップでの経験からますます大学へ進学したいという意欲に繋がり、将来空港などの国際的な英語を使う職場で働くことができればと思っています。これからもっと英語を勉強しなければと感じています。ライズナーの日本人従業員の方々を見て、彼らのようにうまく英語を話せるようになりたいと思いました」と話しました。

ライズナー体育施設のミエナ施設長は「今回も大城君を迎えることができ、嬉しく思います。このインターナショナルプログラムを通して米軍から地元沖縄へ協力することができればと思いました。私達は英会話や接客対応を大城君に教えることができたと思いますが、ここでの経験を彼が今後の学校生活や将来のために活かすことを願っています」と語りました。



第12回嘉手納スペシャルオリンピックス開催決定！

第18航空団広報局

2011年嘉手納スペシャルオリンピックス開催日程が決定しました。今年は第12回大会となります。県立特別支援学校、沖縄市、嘉手納町、北谷町、米軍基地内に所属する特別支援学級の生徒、また3市町に所属する福祉作業所・施設を中心とする障がいのある方々を対象としてスポーツ競技大会と美術作品展示会が開催されます。

9月17日(土)にはボウリング競技、10月13日(木)～16日(日)には美術作品展示会、11月5日(土)にはスポーツ競技大会及び美術作品展示会とメインイベントがそれぞれ下記の場所で同時開催されます。昨年はスポーツ競技に参加したアスリートが850名、そして美術作品を出品した700名余のアーティストが参加されました。同イベント開催に向けて、今年も嘉手納スペシャルオリンピックス実行委員会が立ち上げられ、準備や調整に取り組んでいます。



■ ボウリング競技

開催日：2011年9月17日（土）

場所：シーサイドボウルミハマ（北谷町美浜）

時間：午前9時～午後1時



■ スポーツ競技・美術作品展示会

開催日：2011年11月5日（土）

場所：嘉手納基地内ライズナ一体育施設



■ 美術作品展示会のお知らせ

応募された美術作品は、下記の日程でサンエー具志川メインシティでも展示されます。多くの方のご来場をお待ちしております。どうぞ観覧下さい

開催日：2011年10月13日（木）～16日（日）

場 所：サンエー具志川メインシティ、1階メインコート

大会主催：嘉手納スペシャルオリンピックス委員会

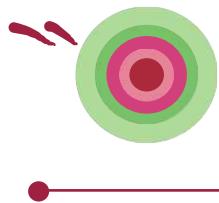


KADENA SPECIAL OLYMPICS



!!! 今月の SpotLIGHT

嘉手納基地で働く様々な職種の日本人従業員にスポットをあてて紹介していくコーナーです。今回はこの方々にお話をうかがいました。



国防報道機関American Forces Network沖縄

放送機器保守技術者

ふくもと まさふみ
福本 雅史さん

放送機器保守技術者

ながみね あつし
長嶺 敦さん



MASAFUMI
FUKUMOTO

Q1. あなたの職種と仕事内容をお聞かせ下さい。

SpotLIGHT!

(福本) 正式な職名は「テレビ・ラジオ修理工」です。家電のテレビやラジオなどを修理するのではなく、放送用機器をコンピューター制御しているシステム機器例えばTVオートメーションシステム（テレビ自動送信調整装置）や音響ミキサーなどの修理・点検・補修をしています。上記の調整装置は、テレビ番組の間に政府広報などを取り込み、放送時間内に全体の放送内容をまとめ、自動的に放送する装置です。以前はテープやレコードだったのが今はデジタル化され、全てコンピューター化されています。



ATSUSHI
NAGAMINE

(長嶺) 職名とはイメージが異なりますが、放送技術の修理をしていることになります。AFNのテレビチャンネルは全部で九つあり全て衛星を使って送受信されます。先ほどの政府広報挿入の作業なんですが、米国本国から送られてくる番組と政府広報の間に、地元沖縄で製作された公共広報動画を加えるということです。同様にラジオにも同じ作業をするシステムがありその機械装置の修理も行います。テレビとFMラジオの送信所は、ここライカムプラザハウジング内にありますが、AMラジオの送信所はキャンプキンザーにあるので、そこで修理をすることもあります。

(福本・長嶺) ちなみに、FMラジオ放送があるのは沖縄だけです。AFNは横田、三沢、岩国、佐世保、沖縄に設置されていますが、沖縄以外の4つの場所ではラジオはAM放送しかありません。

(長嶺) 研修が毎週1回、整備部門で働く全員で行っています。空軍のネット上の研修サイトがあり、AFNで働く整備担当者は、軍人同様、オンラインの研修を定期的に受けなければなりません。在日米軍にあるAFNでは何処も同じように研修を受けています。また、司令部のある横田基地から教官が来て私達に講習をします。このような講習は、『こんな専門的なことまで説明するのか』と驚くほどです。

(福本) 通常勤務時間外の緊急時の対応は交代制をとっています。軍人、日本人も含めた全員で週代わりで対応しています。火曜日から翌週の火曜日まで、当番（1人）は24時間待機します。当番の週は家で待機したり、出かけても近隣のみ、もちろんアルコール類は取らずに要請があればすぐ対応できるようにしなければなりません。

また、リモート（遠隔）といって行事が行われる現地でFMラジオの出張生放送などがある場合もあります。たとえば、空軍でいうと2009年に開催したアメリカフェストの会場でラジオの生放送を行いましたが、イベント前日まで、電源や電話線の確保・確認、当日は機材の搬入、放送中は不具合に備えイベント会場で待機しています。また、嘉手納スペシャルオリンピックス会場からもラジオの生放送を行いますので、同様に前日から大会当日の準備、生放送の裏方をしています。

Q2. 職場のスタッフ構成は？ 整備部門は空軍兵3人と日本人従業員2人です。

America Forces Network

Q3. この職場に勤めてどのくらいですか？ (福本) 8年目です。 (長嶺) 1年半です。

America Forces Network

America Forces Network

America Forces Network

AFN
Okinawa

Q4. どういう点に仕事のやりがいがありますか？



(福本) 先ほどお話ししたTVオートメーションシステムの機器が10年毎に更新されるのですが、新しい機器が入ってきたときに取り付けをし、その取り付けた機器が機能し、この機器を使った放送が流れると嬉しくなります。また、単純にシステム機器の壊れている部品を交換して終わりではなく、たとえばベルト一つ直すにしても交換した後に今流している放送の周波数に合った張り具合なのか、放送に必要な信号の質が出せているかを確認しながら微調整を行います。このように、手を加え機械がうまく作動したときに達成感を感じます。

(長嶺) ここに働く前は電気技師をしていました。ファクトリー・オートメーションといって、たとえば水処理施設の制御施設、バルブやモーターを動かしている配電盤の設計をしたり、制御盤を製作したりという分野でしたので、いまは全く異なる仕事ですが、放送機器の動作原理や放送原理がとても興味深く、毎日新しい発見もありますし、コンピューターを使用しているので技術が日進月歩で進んでいてそれに伴い勉強をしていくうちに気づけばいろいろなことが出来るようになっていて、スキルアップしていることに喜びを感じます。

(次ページへ続く)

Q5. この仕事の大変さについて。

(福本) 個人的に技術をもっと向上させたいというのもあります、仕様書も何もかもが英語なので、よく内容を理解するために英語力が求められるのでそれが課題です。

(長嶺) やはり英語の勉強が必要だと感じています。他の基地との連絡はもちろん、問い合わせや部品の在庫確認の報告、訓練・研修の報告などもすべて英語でしなければいけません。わからないところがあれば、周りのひとから助言を得ていますが、民間でやってきたこととはまったく異なるので、技術をまだまだ向上させていかなければと思います。



Q6. アメリカ人と働く環境での一番の課題は何ですか？

(福本) 課題というよりも、友達になれたかなと思ったら、転勤の時期がきて離れていくことが辛いですね。

仕事上、修理の過程などでお互いの意見がぶつかるときもありますが、それは仕事上のことで個人的なことではないので、これといって問題はありません。現在一緒に働いている空軍兵はとても優しい人たちで、わからないことを尋ねるととても丁寧に教えてくれます。仲が良く、ランチによく一緒に行ったり、ホームパーティーにも呼んでもらったりと和気あいあいです。

(長嶺) 仕事で衝突しても相手から間違いを認めてくれて後から謝ってきてくれたりします。また、監督官の部下の面倒見がよく、

こまめに気を使ってくれます。本土の親類が亡くなったときにも花を贈ってくれたりと優しい心配りがあります。仕事を始めたとき上司からチームワークが一番大切なので、努めて大切にして欲しいといわれたことがとても印象的でした。また、コミュニケーションを密に取るようにとの言葉どおり、意思の疎通もしっかりとっているし、お互いの気遣いがあります。

Q7. 軍の仕事で感じる相違点は？

(福本) 民間での仕事は、家電修理をしていましたが、家電の場合は仕事の予定で翌日に回すことができました。しかし、ここは放送局なので不具合が発生すると放送が停止してしまうこともあります。トラブルが起きないようにしなければいけませんし、もし不具合が発生した場合には即座に対応し復旧しなければいけません。また、民間では遅い時間まで修理していたので、基地に働いて定時にあがれるようになったことが大きな違いです。

(長嶺) 民間では企業が利益を追求して仕事をしていますがここでは公の仕事をしているという感じがします。先日、知人の米国人にAFNで働いていることを伝えると、その方から、『テレビやラジオ放送を見たり聞いたりしていると、裏方で働いている人たちの顔は見えないけれども、その人たちがいるからテレビが見られ、ラジオが聞ける大切な仕事をしているんですね』といわれてやりがいがある仕事なんだ嬉しく思いました。

Q8. 同じような職種に就こうと考えている方へのアドバイスは？

(福本) やる気ですね。英語があまり出来なくても興味があれば何でも吸収できると思うので、やはり最終的には「やる気」が大切です。

(長嶺) 否が応でも英語の勉強が必要だと思います。そして、コミュニケーションの上手な人。それに加え、コンピューターに興味のある人や電気関係の機械いじりが好きな人やハム無線が好きな人に合っているのではないかと思います。ここに設置されている機器はアメリカ本土でも実用可能になったばかりの最先端のものがあり、ためし使い的な意味合いで設置されたりするので思っている以上にいろいろなことが学べます。

American Forces Network

SpotLIGHT!
SpotLIGHT!
SpotLIGHT!



!!! 今月の SpotLIGHT



宮崎県消防団、嘉手納基地空軍消防署を視察

第18航空団広報局

今後の消防・消火活動に活かす目的で、6月10日、宮崎県東諸島郡綾（あや）町消防団より約15名の消防団員の関係者が、嘉手納基地の消防署を見学しました。概況説明を受けた後、消防署建物内の見学、救命用の装備品、消防車両を見学しました。



(写真全て、米空軍：ジャービー・ワレス上等兵撮影)



(写真全て、米空軍：ラキーシャ・クローリー二等軍曹撮影)

台風2号（タイフーン・ソングダ）による被害

第18航空団広報局

2011年5月27日に沖縄地方を通過し県内に甚大な被害を与えた台風2号は、嘉手納基地内においても大きな被害をもたらしました。

通常米軍は台風が近づくと、予想最接近時の72時間前、48時間前、24時間前と段階にわけて予防対策をとります。たとえば各事務所に配置してある公用車両を使用禁止にして所定の駐車場へ集めたり、戦闘機を格納庫に收めたり、大型機を近隣の米軍基地へ飛行避難させたりします。基地内の家族住宅では、風で飛ばされそうな物品（ピクニックテーブル 椅子など）を屋内に片付けたり、固定したり台風対策をとりますが、被害がでてしまう場合もあります。台風ソングダによる被害は大きく、嘉手納基地内のオコーナー体育館の外壁が剥がれ落ちたり、大きなガジュマルの木が根こそぎ折れたり、塩害で多くの樹木が枯れてしまいました。

米軍の場合、私物が被害を受けた場合（例えば、住宅の簡易倉庫に保管していた物が暴風雨で破損したなど）は、それを軍の法務部等に申告して認められれば米軍が物品に応じて補償する制度もあります。

日本ではその年に発生した台風を番号で表しますが、米軍では発生した台風にアジア名を用います。台風2号はソングダ（Songda）で、それはベトナム北西にある川の名前だそうです。このアジア名は、2000年に世界気象機関の台風委員会（日本ほか14カ国加盟）で決定され、140個のアジア名が順番で決められており、発生した順序で名称がつけられています。



米軍の波浪情報はSea ConditionとしてAll Clear（全面解除）、Caution（注意）、Danger（危険）の3段階で表示されています。All Clearは、16ノット以下の風速が報告され、海における活動が初心者にとっても良好としています。

Cautionは、突風を伴う風速16ノット以上の風が少なくとも3時間観測されます。危険な状況があるかもしれないのに、海での活動を予定している者は、注意が必要と勧告されます。Dangerは、突風を伴う30ノット以上の風速が少なくとも3時間継続し、米軍が発令する台風警報Tropical Cyclone Condition of Readiness (TCCOR)の2段階(TC-2)に相当します。危険な状況と判断され、海での活動は制限され、生命に係わるため海中に入るすべての活動が禁じられます。その際、軍施設では、海でのレクリエーション関係の遊具のレンタルが中止となります。嘉手納基地のホームページのKadena Weatherのサイトの中で、最新の波浪情報(Current Sea Conditions)が常時掲載されています。地図では、辺戸岬(Hedo Point)と喜屋武岬(Cape Kyan)を結んだ線で沖縄本島が、東シナ海側の西セクター(West Sector)と太平洋側の東セクター(East Sector)の2つのセクターに分けられています。そして最新波浪情報はそのセクターごとに表示されています。

ちなみに米軍関係者の間では、海上 航空地図を作成するに当たり、ユニークな名前で地元の場所が呼ばれている所もあります。例えば、読谷村の残波岬は「ボロポイント(Bolo Point)」、北谷町の砂辺海岸は「スナベ・シーウォール(Sunabe Seawall)」、浦添市牧港にある沖縄電力の2基の電力発電所は「ツインタワー(Twin Towers)」、那覇市沖合いに位置する慶伊瀬島は「サンド・アイランド(Sand Island)」などです。



ALL CLEAR
CAUTION
DANGER

ALL CLEAR
CAUTION
DANGER

